

広報まき

6-10

水無月2004

vol.917

下水道「排水設備等指定工事店」が決まりました
運動しま専科 KIN-BALL
国民年金からのお知らせ
皆さんの提案やご意見をお寄せください
シリーズ「昭和を探して」

●市町村合併に関するアンケート結果

「新潟市との合併を推進」

49.4%

●特集

嗚呼、
運命の
鯛車

●巻町のホームページ town.maki.niigata.jp
●E-mail maki@town.maki.niigata.jp

市町村合併に関するアンケート結果

新潟市との合併を推進 49.4%
合併をしない 25.8%
わからない 23.1%

2回にわたる合併問題等懇談会を経て行った「市町村合併に関するアンケート調査」。対象となった18歳以上の町民24,439人のうち22,638人の皆さんから回答を頂き、回収率は92.63%となりました。ご協力ありがとうございました。
 なお、アンケート用紙に記入を頂いた皆さんからの貴重なご意見は、今回の広報と一緒に配布した「合併特集号」でお知らせしています。意見などの原文をご覧になりたい方は、6月10日(木)～6月21日(月)の間(土・日を除く)、役場総務課で閲覧することができます。

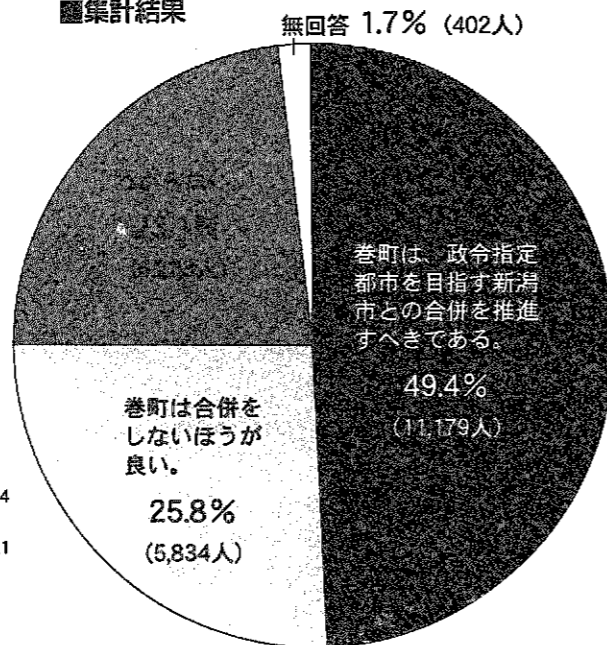
対象者数 24,439人
 回答者数 22,638人
 回収率 92.63%

ご協力、ありがとうございました。

質問
 合併について、あなたのお考えに一番近いものを一つお選びください。

- 巻町は、政令指定都市を目指す新潟市との合併を推進すべきである。
- 巻町は合併をしないほうが良い。
- わからない。
- 無回答

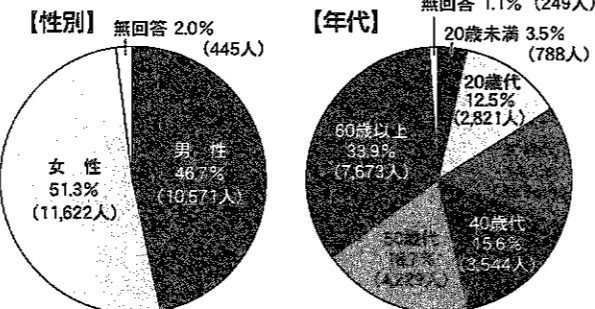
集計結果



男女・年代別回答構成比

【性別】		(%)	
男性 10,571人	51.1	27.4	1.4
女性 11,622人	48.9	24.3	1.1
性別無回答 445人	20.2	24.7	29.0
【年代別】		(%)	
20歳未満 788人	41.5	25.8	0.6
20歳代 2,821人	44	26.4	0.4
30歳代 3,334人	51.4	22.9	0.8
40歳代 3,544人	54.5	24.8	1.0
50歳代 4,229人	51.3	28.5	1.4
60歳以上 7,673人	49.4	25.9	1.7
年代無回答 249人	18.9	20.5	51.0

回答者の男女・年代構成比



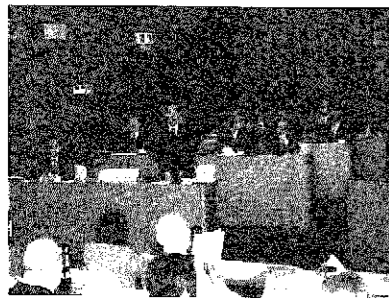
新潟市と協議を始めたい

市町村合併に関するアンケート集計を終えた5月31日、役場議事堂で「第4回巻町市町村合併等調査特別委員会」が開催され、田辺町長は、アンケート集計結果と今後の方向性について説明しました。説明の中で田辺町長は、次のように述べています。
 「巻町の最重要課題である合併問題について、町民主体の開かれた町政を運営していくために、2回の懇談会を経て18歳以上の全町民を対象にアンケート調査を実施しました。その結果、回答を頂いた約半数の町民の皆さんが新潟市との合併を推進すべきという意見であり、今回のアンケートで巻町の今後の方向性が見えてきました。
 私は、一番多かった町民の声を町政に反映したいと思えます。したがって、新潟市と協議を始めたいと思えますが、新潟市は来年3月21日の合併を控えるなど新潟市なりの事情もあります。したがって、まず新潟市と同じ土俵に上がるのかどうか、新潟市と話

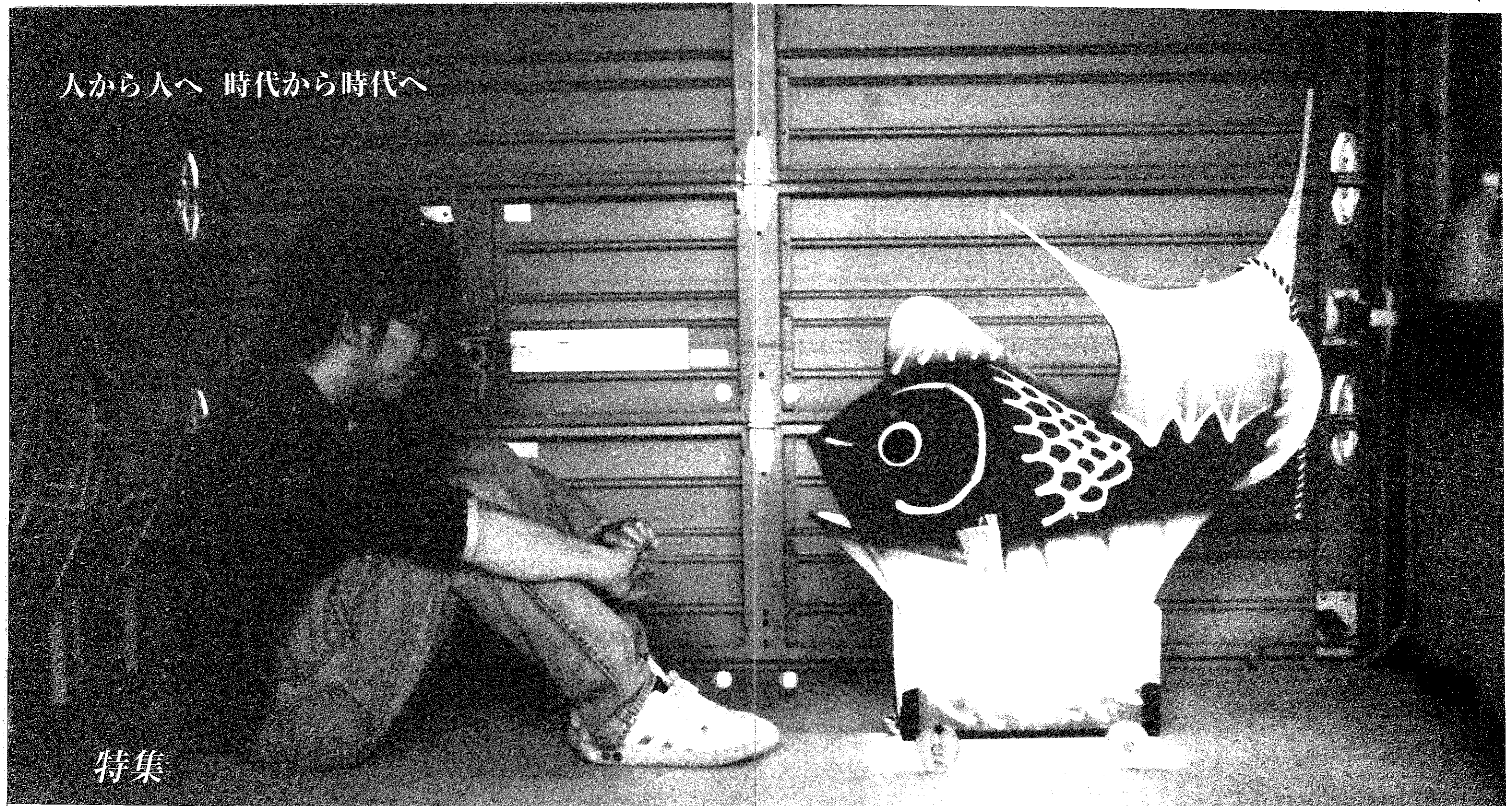
し合いたいと思います。その結果、将来的に巻町も一緒にということになれば、現在の巻町と新潟市の制度上の違い、合併した場合のメリット、デメリットなども比較・検討することが出来ます。そして、新しい枠組みの中で、巻町の力をどのように発揮できるのか、どのような町づくりを目指すべきなのか、それらの情報を逐一町民の皆さんに提供していきたいと考えています」。

翌6月1日、田辺町長は新潟市を訪れ、篠田市長に協議を始めたい旨を伝えました。

特別委員会で、アンケート集計結果と今後の方向性を説明する田辺町長。



人から人へ 時代から時代へ



特集

「人間は自己の運命を創造するのであって、これを迎えるものではない」といったのはフランスの文学研究家ヴィルマンだが、人には、直接・間接的にかかわらず、生き方そのものに大きな影響を与える出会いや体験が少なからずある。それを運命と考えるか否かは人それぞれによって異なるものだが、今回は、いくつかの偶然が重なり合って運命を感じた、ある青年の話です。

嗚呼、運命の鯛車

家の周りをゴロゴロと

「やっぱり、運命ですかね」と、彼はうれしそうに話すと、彼の名は、野口基幸さん。この春、長岡造形大学を卒業し、アクアデザインアマンでグラフィックデザイナーとして活躍している。そして彼は今、巻町の「鯛車」の復活に情熱を燃やしているのだ。冒頭の言葉は、鯛車を作ろうとしたきっかけを彼に尋ねたとき、返ってきた言葉だ。

皆さんは、「鯛車」をご存じだろうか。最近では、下水道のマンホールのふたの意匠にもなっているから、「ああ、あれか」と思われる方も多いかもしれない。

「鯛車」は、昔から巻町に伝わる竹と和紙でできた郷土玩具。お盆のころになると、子どもたちが家の周りをゴロゴロと引いて歩いた。

それはいたって素朴なもので、細く割った竹を芯にして鯛の原型を作り、そこに紙を貼り赤い色をつける。鯛のうろこはろうそくを溶かして筆で描いた。この鯛の「赤」とうろこがろうそくの灯りで美しく揺れる。その光景は、やがて収穫の秋に入ろうとする晩夏の風物詩だった。

「自分がやるっきゃない!」
そう思ったんです。



MOTOYUKI NOGUCHI

野口基幸
昭和66年4月、巻町生まれの23歳。幼少のころから中学1年の夏までは、父上の仕事の関係で新潟、五反田まで通すが、その後再び巻町へ。巻町中、巻高に進み、この春、長岡造形大学を卒業。大学では建築デザイン専攻、現在はグラフィックデザイナーとしてアクアデザインアマンで会社の雑誌、広告などを手がける。幼いころから祭り好きで、父上、親上の実家がある巻の祭りには「必ず来ていた」。趣味は、小学校時代から続けているサッカー。大学時代にバイトしていた店にちなみ、サッカーチーム「スーパーマリイ」を持つ。未婚。

日本が高度成長期を迎える昭和30年代に入ると、大量生産が時代の主流となり、素朴な手作りの鯛車は、やがて巻町から姿を消していった。

それから30年あまりがたった昭和56年、過去の記憶をもとに長谷川初衛さん（10区）が鯛車を復活。保存会も結成され、昭和58年から毎年、夏祭りに鯛車パレードを行った。しかし、8年前に長谷川さんが亡くなってからは、それも行われなくなった。海面に顔を出した鯛は、再び海の底深くへと泳いでいってしまった。

パレードできませんか

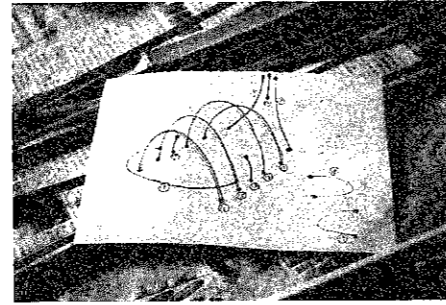
「大学の卒業制作で鯛車を作りたいんです」と、彼が役場を訪れたのは去年の春。子どもたちのころ、夏祭りで引いた鯛車の記憶が鮮明に残っていた。



竹細工職人だった、母方のひいおじいちゃんが使っていたナタ。作業の過程で大変重宝した。「竹ひごを200本作って手がぼろぼろになったけど、これがなければ、ここまでこれなかった」。やっぱりこれも一つの運命か。

で、自分も作ってみたいと思っただけ。そして、「完成したら、来年の夏祭り前に、役場に飾らせてもらえませんか」という。

「飾るのは大歓迎だけど、作るのに何か資料でもあるの」と聞くと、「これから探します」。それじゃあというところで、最初に巻の鯛車を復活させた長谷川初衛さん、鯛車保存会の佐藤誠司さんの話をすると、「そうですか、では訪ねてみます」と彼はいった。



簡単な構造図。これだけで鯛車を作るんだから驚き。

つて、ついつい応援したくなる。時間を見つけて個展会場を訪れると、卒業制作のポスターとともに一台の鯛車が誇らしげに飾られていた。

「先生や仲間の評判もいいんですよ。何台かもつと作って、できたら来年の夏祭りにパレードできませんかね」と彼。そして、「長谷川さんのお話をうかがいにお宅を訪ねたら、なんとその日が長谷川さんの命日だったんです。なにか運命を感じました。これは自分がやるっきゃないって」。

「鯛車もなんとかできました」と満面の笑顔。彼の屈託のない笑顔は、初めてあったときからとても印象深い。何か人を引き寄せる純粋なものがあ

る。昔を懐かしみ、記憶をもとに鯛車を最初に復活させた長谷川初衛さん。その鯛車を引いた記憶がもとで、再び鯛車の復活に情熱を燃やす野口

さん。時代は変わっても、古きよきものに敬意を払い、慈しむ心は時代や世代を越えても変わらない。

ものの豊かさから、心の豊かさが求められるようになってきた今の世の中、伝統を守り、はぐくんでいくことがどんなに大切なことなのか、彼の行動によって改めて考えさせられた。価値観の異なる人から見れば、「5へえ」程度のこともかもしれないが、彼の純粋な気持ちと実行力に、スタンディング・オベーションで大きな拍手を送りたい。

夏祭りのパレードで、満面の笑みで行進する野口さんと子どもたちを見かけたら、どうぞ皆さん、彼らに盛大な拍手をお願いします。

大きな拍手を送りたい

そんなわけで彼は今、忙しい仕事のかたわら、自宅の車

記念すべき卒業制作の一台。夏祭り用は、これをベースに改良を加える。「たくさんの人から助言をもらった」。

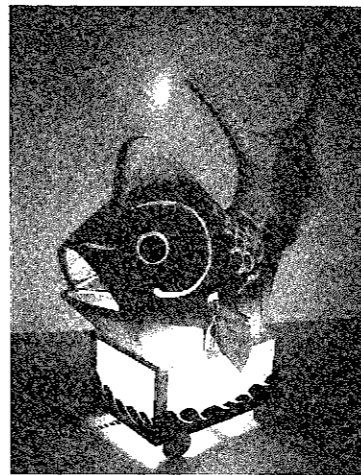


「鯛車」の歴史

「鯛車」の由来は不明だが、お盆になると子どもたちが家の周りを引いて歩いた。古老の説によると、江戸時代の末期ころからあったと言われ、花屋（造花屋）や籠屋が作って売った。お盆時期に限られたことを考えると、先祖の霊を慰めるための仏事が起こりと言う人もいる。昭和初期、子どものいる家では子どもの数だけ何台も作った。そのころが鯛車の全盛期だった。夕暮れ時から、各町内を二十台も三十台もの鯛車にあかりを灯して、浴衣姿の子どもたちが下駄をはき砂利道をゴロゴロ引いて歩いた。今では作る店もなく、その習慣は途絶えてしまった。



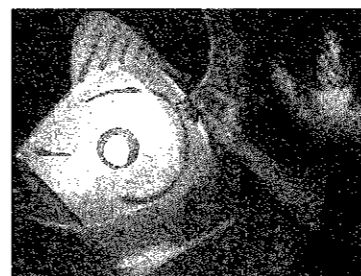
完成



透明水彩を使っているので光をよく通し鮮やかな色が出る。ろうで描いた模様も白くはっきりと浮かび上がる。



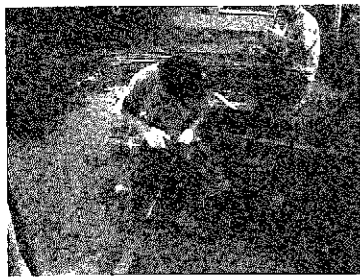
透明水彩絵の具をうまくぼかしながら塗っていく。ろうは絵の具をはじくので塗りやすい。



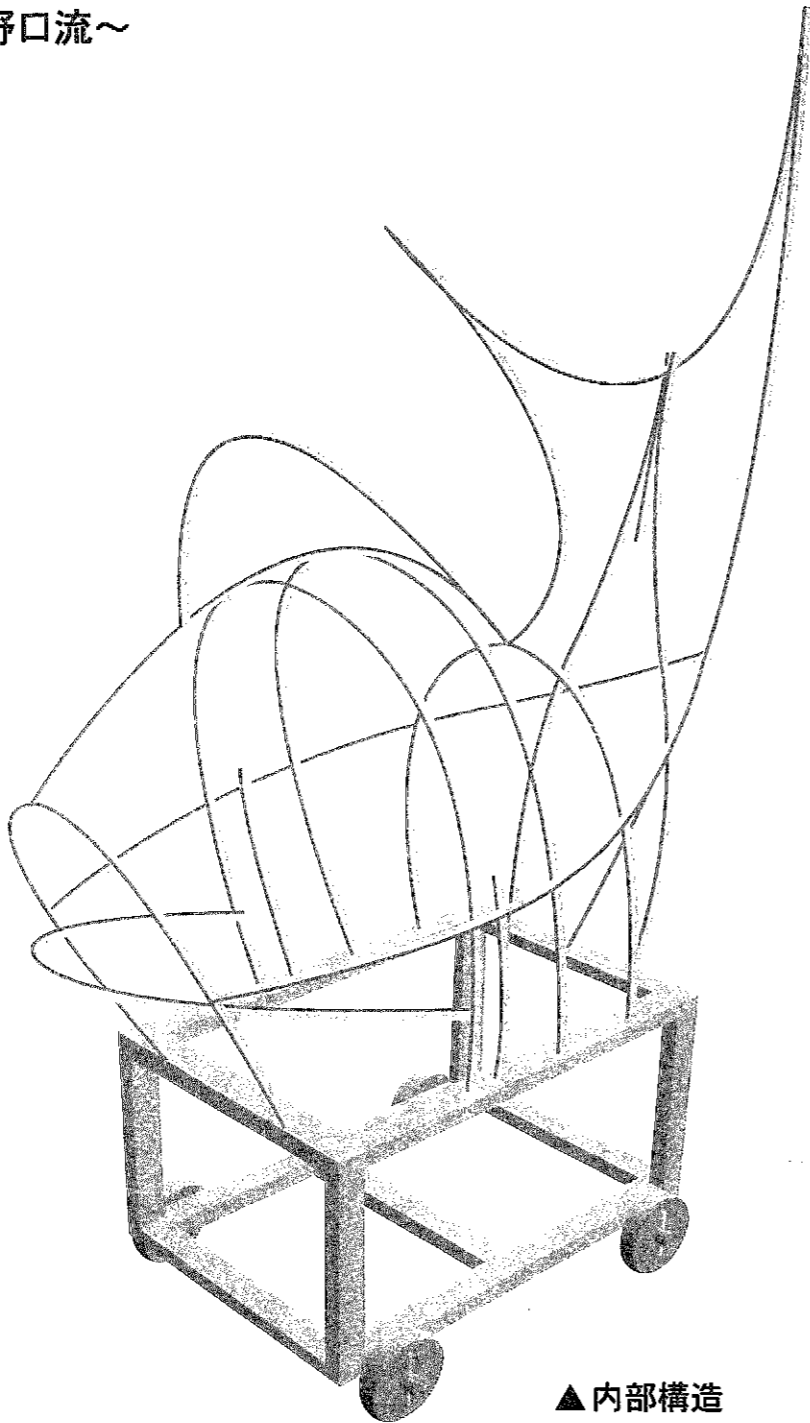
ろうを鯛に入れて溶かしながら塗っていく。ろうは温度が下がるとすぐに固まってしまうため、常に一定の温度を保ちながら塗らなければならない。

〈鯛車〉の作り方～野口流～

始まり



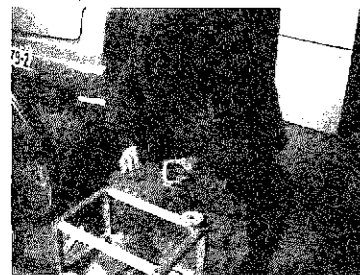
竹の外側の皮の部分だけを残し細く加工する。竹は水分を含んでいると曲がりにくいので、時間をかけてよく乾燥させる。



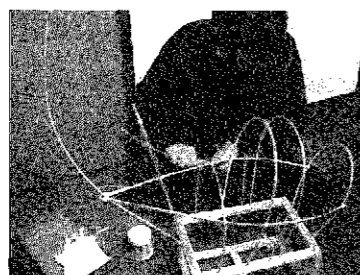
▲内部構造



車輪は、桐の木の枝の部分を使う。桐は元から中に穴が開いているので、なるべく中心に穴があるものを選ぶ。円柱の木材でもよい。



輪切りにした桐は穴を正円に近づけ、外側はなるべく素材の形を残す。なぜなら引く時に「カラカラ」と鳴る車輪の音を出したいためである。



あらかじめ作っておいた台の上に穴を開け、曲げた竹ひごを刺していく。竹ひごが交差する部分は風糸でしっかり結んで原型を作る。



竹ひごにノリをつけ、和紙を貼っていく。和紙を全体に貼ったら、十分乾燥させる。



巻町の鯛車復活に情熱をかけた

故 長谷川 初衛 さん

ありし日の長谷川さん。巻町鯛車復活の第一人者は平成8年5月13日、惜しまれながらこの世を去った。しかし、鯛車にかける情熱は、しっかりと後に続くものに受け継がれていくはずだ。

巻の夏祭りに参加して
懲りもしないで あきもせず
ただ ひたすら
鯛を引っ張りつづけてもう10年
またこれからも

左は、平成4年、巻町鯛車保存会10周年記念誌における長谷川さんの寄稿文(抜粋)

昭和56年の春でした。昭和52、53年ころから三条市の鯛車が巻町入り始めたところ、私は巻町にも鯛車があったはず、巻町にも巻町としての型があったはずだと鯛車の復活について勉強をはじめました。昔はなにとてない田舎の町、子どもの楽しみはお盆に引いた鯛車、各家庭で作ってくれた素朴な鯛車でも、砂利道でガラガラゴトゴトただ引くことが楽しみだった。今では各地(三条、村上、新発田)で昔なつかしくきれいなミニ鯛車や金魚台輪等の郷土玩具を売り出しており、観賞時代というか昔なつかしくながめる時代になりました。

私も勉強に勉強して、型もやや変えて、色彩も変えてきれいな鯛車に変えて参りました。昭和56年の秋、当時商工会の内藤事務局長が私の家に遊びに来られ、たくさんの鯛車におどろかれ、商工会報に記事や写真を載せ、また役場の熊倉さんが巻夏祭りに鯛車のパレードをやってみたいと大変な熱の入りのよう、昭和58年に30台の鯛車を作り、役場ホールで飾ったときは昔なつかしい鯛車は大人気となりました。そして夏祭りに30台の鯛車パレードを実行し、町の人の人気を得たわけです。現在ますます盛大に挙行しております。また、巻町鯛車保

存会を結成して以来、テレビ、新聞に大変人気があり、巻町伝統の鯛車が報道されました。私自身も、昭和58年度から敬老の日に米寿(88歳)の人に鯛車を贈呈して10年、昨年社福社協議会及び巻町長より表彰を受け喜んでいる次第であります。

また全国郷土玩具ガイドにも巻町の郷土玩具として掲載され、巻の鯛車が紹介されるようになり誇りに思っております。

私は現在も鯛車の製作に専念しておりますが、郷土玩具「巻の鯛車」を民芸品として可愛がってください。

(長谷川具服店主)



若い人が自分で作ってみたいと思うのは、とてもうれしい

巻町鯛車保存会会長
佐藤誠司さん(5区)

保存会ができたきっかけは、長谷川さんが趣味でつくり始めた鯛車に目の目を見せてやりたいということからでした。当時役場に勤めていた熊倉さんと昔頭をとって、長谷川さんと相談したんです。周りにも昔を懐かしむ人がいて、そういう人たちで保存会を立ち上げたんですよ。そして、夏祭りに参加しようということになったんです。

野口くんとの最初の出会いは、「鯛車を作りたい」といって店を訪ねてきたとき。店にあった鯛車を貸してやったんです。彼のような若い人が、子どもころの記憶をもとに、自分で作ってみたいと思ったのはとてもうれしいことです。2年前に巻北小学校で鯛車



一昨年、巻北小2年4組が取り組んだ鯛車製作に全面協力。皆で9台を作り上げた。

を作ったときは、先生も子どもたちも非常に一生懸命になりました。子どもたちの目の色を見ると中途半端でやめられないと思いましたが。そのうち、父兄も一緒にになって一生懸命手伝ってくれました。そして出来上がった鯛車は、11月の町民祭でみんなで見せました。

鯛車保存会は、現在は活動休止中です。長谷川さんが亡くなってから、大量に作る人がいなくなりました。長谷川さんが元氣なころから後継者の話も何回か出ましたが、竹を割ったり皮をむいたり、材料の調達や加工に手間がかかるなどむずかしい面があつて、できませんでした。今回、野口くんが作りたいといってくれて、本当にうれしかったですね。



何らかの形で協力しながら鯛車を盛り上げていきたい

巻町鯛車保存会
熊倉嘉一郎さん(東6区)

私が役場総務課に勤めていたころ、長谷川さんから「趣味で鯛車を30台作ったので、夏祭りに合わせて役場のロビーに飾ってほしい」といわれたんです。実物を見ると、それはすばらしいものだった。これは単に飾っておくだけではもったいない、なんとか本町通りで引くことができなにかと考えました。じゃあ、いつがいいのかと考えると、保存会を立ち上げて夏祭りで引くばらうと思つたわけです。

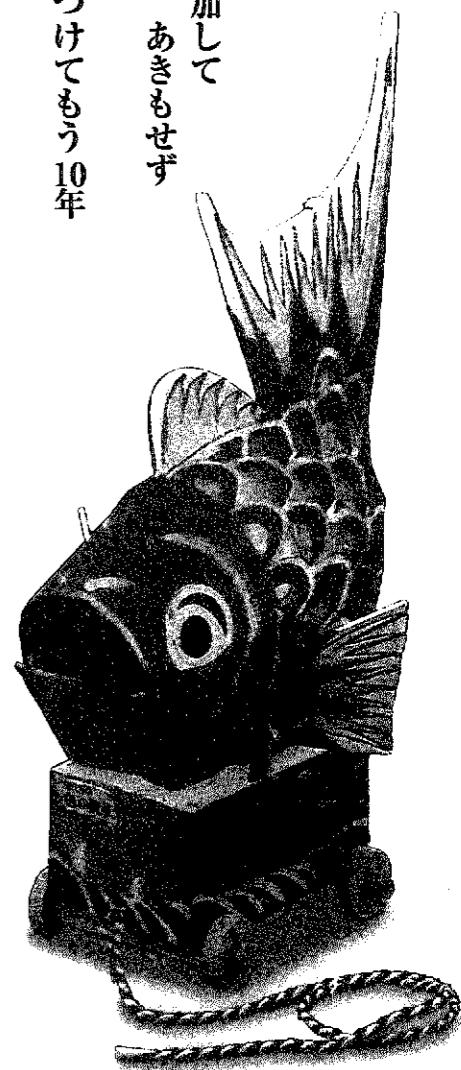
保存会のメンバーは10人ほどいますが、現在活動はありません。でも、メンバーは昔を懐かしんで、集まろう、集まろうといっています。私個人としての当時の目標は、東京のと真ん中、銀座祭



りで鯛車を泳がせ、巻町をPRしたいということでした。しかし、長谷川さんが亡くなった後、しりすほみになつてしまいました。

野口さんのような若い後継者が出てきて、何らかの形で保存会も協力しながら、町の郷土文化である鯛車を盛り上げていきたいですね。

- #### 巻町鯛車保存会の歩み
- 昭和58年：保存会結成。6月15日、初めて鯛車を引き「巻夏祭り」に参加(桔梗ヶ丘子供会50人。同日薄暮のころ、浴衣姿に下駄ばきで鯛車にろうそくを灯し本町通りをパレード(赤獅子供会22人。町と一緒に「ふれあいの町づくり事業」で鯛車製作の講習会を実施)
 - 昭和59年：この年から6月15日、16日の2日間「巻夏祭り」に参加(赤獅子、竹野町ほか5地域から49人)。祭りで見物人を呼び、マスコミの注目を浴びる。
 - 昭和60年：峰岡・中郷屋ほか8地域から50人が参加。鯛神輿も登場。
 - 昭和61年：福井・平沢ほか11地域から52人が参加。鯛神輿2台に増やす。
 - 昭和62年：湯頭・舟戸ほか10地域から51人が参加。「にいがたのふるさと展」に鯛車の出張展示。峰岡の秋祭りに鯛車を貸し出し。5周年記念でテレホンカードを作成。
 - 昭和63年：鯛車を60台に増やす。桔梗ヶ丘・仁箇ほか11地域から56人が参加。
 - 平成元年：安尻・下和納ほか11地域から45人が参加。
 - 平成2年：赤獅子・福井ほか9地域から47人が参加。
 - 平成3年：鷲ノ木・松郷屋ほか15地域から63人が参加。巻町表彰を受賞。
 - 平成4年：前田・割前ほか10地域から57人が参加。保存会10周年記念式典挙行政。
 - その後、平成11年ころまでパレードを継続するが、長谷川さんが亡くなってから鯛車の補修ができず、現在は休止中。



子どものころの記憶を頼りに、形や色彩にアレンジを加え作り上げた長谷川流鯛車。鮮やかな赤と可愛らしい姿が特徴。三条の鯛車に一派通じるところがある。大小さまざまなサイズの鯛車を何百台も作られた。



鯛車復活の第一歩

久方ぶりに巻町に鯛車が姿を現したのは昭和50年の夏祭り。団地化で子どもが増えた「葉巻場子供会」が鯛車の山車を引いて夏祭りに初参加した。高さ3メートルほどの巨大な鯛車の骨組みは、高校通りの佐藤龍屋作。巻町鯛車復活の第一歩だった。

伝統を受け継ぐ

巻町鯛車の達人

久保田 宏さん【8区】

高橋 哲男さん【峰岡】

田邊 一雄さん【11区】

達人たちの作品



子どもが小学生のころの自由研究がきっかけで、20年ほど前から作り始めました。町の講習会で長谷川さんから作り方を習ったんです。

鯛車は、私が子どものころにもありました。お盆のころになると、子どもたちが寺町界隈を引いて回ったものです。昔は花屋や籠屋で作って売っていました。中にろうそくを灯し、砂利道をゴロゴロ引くとうろうそくの灯がユラユラとゆれてきれいでしたね。ですから私の鯛車は、中に電気を入れるようにしてあります。

材料集めからすべて自分でやりますよ。竹は1月ころに切り、1年くらい寝かせます。青竹ではのりをはじいて、紙をうまく貼れないんです。紙は一枚で全体を貼るのではなく、25枚の紙を竹ひごで区切られた部分それぞれに貼っていきます。乾くと一枚の紙で貼ったように見えるよう、つなぎ目が分からないようにするのも技術があります。すきまができて、あかりを入れたときに光がもれますから。人によってはポスターカラーや絵の具で着色する人もありますが、私は染料を使って色付けします。

野口さんには、分からないことを教えたりアドバイスしたりしていただけです。作る人によって形が違いますが、そこがいいんです。竹ひごの一本一本の大体のサイズは決まっていますが、竹の微妙なしなり具合で出来上がりが違います。その結果、大量生産のものと違い、一つとして同じものができません。同じものができないところに手作りの良さがあるわけです。いろいろな人が鯛車に挑戦するのは、とてもいいことだと思います。野口さんのような人が出てきてうれしいですね。

私はこれまで200台以上作りましたが、今も毎年新しいものを作っています。知り合いに赤ちゃんが生まれたり、新築祝いなどに贈ったりすると大変喜ばれます。鯛車は一生作り続けたいと思います。電気仕掛けでしゃべるものや動くものも考えましたが、素朴なものが一番。出来上がりのかわいい感じ、一つとして同じ仕上がりのものがないところが鯛車の魅力です。夕方、あかりを灯すと、ぼっと淡い赤が浮かび上がる姿はなんともいえません。

役場（助役）を退職した後、平成7年ころから鯛車を作り始めました。

きっかけは、巻の民芸品だから作ってみようかという単純な考えです。長谷川さんから頂いたものがあって、その寸法を測って自分なりに作ってみました。出来上がった鯛車はいろいろな人から批評を頂いたんですが、昔のものちょっと形が違うようなんです。そこで、当時の様子を聞きに齋藤順作さんを訪ねまして、お話をうかがったんですね。巻町に鯛車が伝わったのは明治の初めころで、三条かららしいとのことでしたが、はっきりとは分かりません。そして、昔は町の花屋さんや籠屋さん、ちょうちん屋さんなどでそれぞれ作っていたと。その店によって作る人が違いますから、形や色付けが微妙に違っていたようなんです。ですから、これが巻町の正しい鯛車だということはないのが現状です。

そこで私は昔風の鯛車を作ってみようと思ったんですね。古い鯛車をお持ちの方からそれを見せて頂いたり、資料集めをしたりして、ああでもない、こうでもないという試行錯誤を重ねました。

鯛車を作る過程では、一本の竹から竹ひごを作るのが難しかったですね。最初は皮のむき方がよく分からず苦労しました。知人に聞くと、竹には一の皮、二の皮があってその間に刃を入れるんだと。また、台を作るのも難しい。素人がのこぎりをあてても木材が直角に切れないんです。自分なりに考えたり知人に聞いたりして、つなぎを「合欠き継ぎ」にすることで解決しました。

これまで50~60台ほど鯛車を作ったでしょうか。人にあげたりして手元にはほとんど残っていません。今は作られる方によって形が違い、個性があると思いますが、いずれは巻町型を統一して後世に伝えていく人が出てほしい。

今回、野口さんが鯛車を作られることは大変すばらしいことですし、これを機会に、もっと多くの若い人たちが、鯛車に興味をもってくれるといいですね。



鯛車を作るようになったのは、高橋さんが始められてからです。高橋さんが町の古い鯛車を探されているときに、たまたま自分の家に昔の鯛車の骨組みが残っていたんです。「せっかくだから、お前さんも作ってみては」と高橋さんにいわれ、自分でも作るようになりました。

家に残っていた古い骨組みは、子どものころに私が引いた鯛車でした。50年近くたちますが、父が大切に保管していたんです。聞くところによると、花屋さんが作られたものだと思います。昔の職人さんはすごかった。鯛の自然なふくらみを出すため、竹を台にさす角度や方向が絶妙なんです。

ですから、私の鯛車はこれが基本になっています。古い骨組みを採寸して復元しました。それから、飾っておきやすいように縮尺を2分の1にしたり4分の1にしたりして、だんだん小さくしていきました。小さくなればなるほど手が入らなくて難しくなるんですよ。こだわっているところは、口と胸びれ（1か所留めのため、上下・前後に動く）、尾びれの微妙なカーブでしょうか。

鯛車は3つ、4つ一緒に作ります。竹ひごはホームセンターで買って来て、それにかんなをかけて厚さを整えます。障子紙は弱くてすぐに破れてしまいますから、紙は習字用の厚い和紙を使います。紙を貼るのも大変です。角度があるところやふくらみがあるので難しいですね。色付けは高橋さんの奥さんをお願いしています。

鯛車は、これまでに30台くらい作りました。知人に子どもが生まれたときや新築祝いなどに贈っています。作る人によって、当然こだわりの部分があると思います。私も鯛の微妙なふくらみを出せるように試行錯誤を重ねていますが、作るたびに形が違ってきます。いくつか作るうちに、やっと自分の気に入った形が出来上がります。

今は仕事が忙しくて2年ほど作るのを休んでいますが、また気がむけば作りたい。義務や仕事になってしまうと意欲がわきません。時間のあるときに、じっくり腰をすえて作らないと納得のいくものはいけません。

▼久保田流鯛車。染料で色付けされた柔らかな赤が特徴的。あかりを灯すと、ほんわりと淡く浮かび上がる。カラーでお見せできないのが残念。形も全体的にやさしい感じがする。

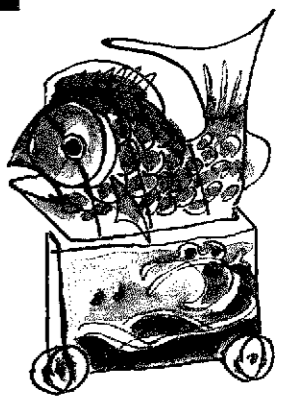


▲下和納のお寺で見つかった江戸末期ころの作といわれる骨組みをもとに久保田さんが再現したもの。体と尾びれがしなっていて、まるで泳いでいるように見える。大変貴重な形。

▼家に残っていた古い骨組みを基に4分の1サイズで再現した田邊流鯛車。他のものと比べると独特の形をしている。台も2段になっている。



▲昔風のものを作ったかったという高橋流鯛車。形は長谷川さんのものに近いが、奥さんがされる色付けは、ほかほかきいた独特のもの。



佐藤吉五郎 画
昭和29年1月、齋藤順作さんにあてたはがきに描かれたもの。当時の鯛車の意匠がよく分かる。

*本文中に登場する「齋藤順作」さんは医師で、郷土史家。「郷土学会」を主宰するなどして、巻町の歴史・文化等に精通していた。平成10年7月、93歳で亡くなられている。

ユニーク
ニュースポーツ

KIN-BALL

キンボール



アドバイザー
体育指導委員 岩波 聡

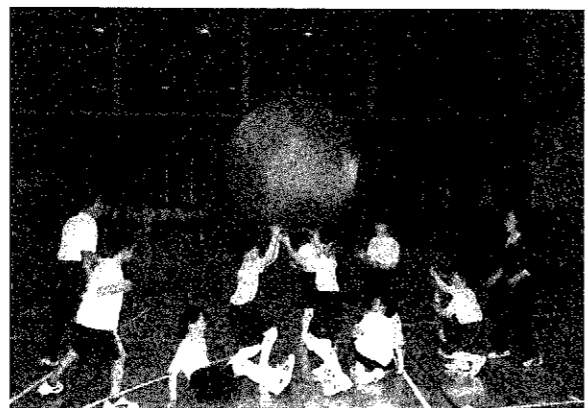
体育指導委員が贈る運動に関するアドバイス

運動しま専科 Vol. 11

キンボールってなに？

キンボールは、1986年カナダの体育学士マリオ・ドゥマース氏によって考案された新しいスポーツ。この競技の理念である協調性、スポーツマンシップの育成、運動能力に関係なく誰でもゲームに参加できることが学校教育に取り入れられ、カナダやアメリカの学校5,000校以上に、また多数の成人教育コースに取り入れられています。日本には、1997年に初めて紹介され、国際キンボール連盟日本事務局が中心となり普及を行なっています。

巻町でも体育指導委員が中心となり、平成14年から取り入れ、スポーツ教室等を行ってきました。

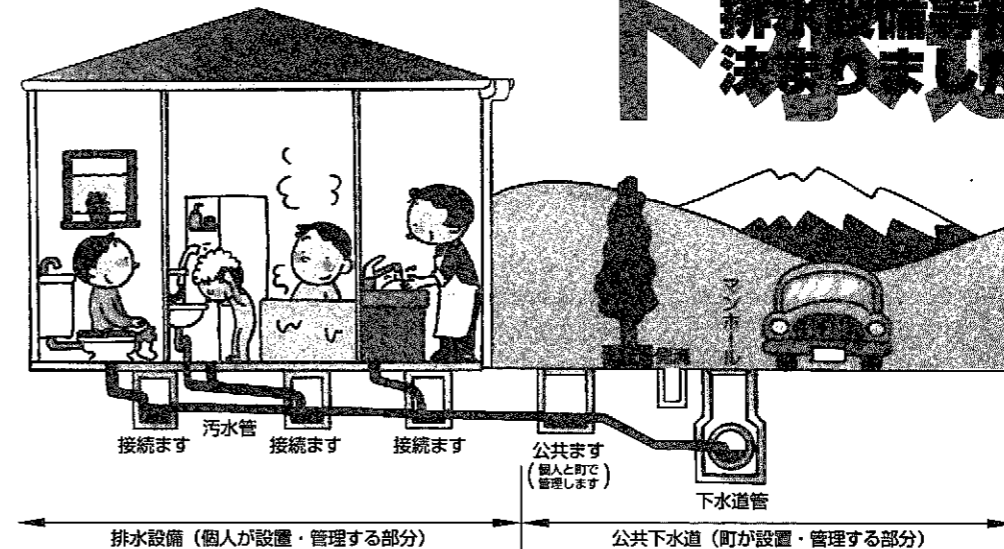


で、どんなスポーツなの？

キンボールは15~21m×15~21m以内のコートを使い1チーム4人（12人まで登録可）、3チームでプレーします。直径122cm、約1kgの大きなボールでサーブやレシーブを繰り返し、失敗したら他のチームに得点が与えられるゲームです。

キンボールは大別すると、競技としてのゲームと競技が困難な小学校低学年や高齢者、障害者を対象により楽しめるよう工夫したルール・バリエーションもあります。だれもが楽しめる新しいスポーツ、それがキンボールです。

下水道工事店が 排水設備等指定工事店が 決まりました。



下水道の供用が始まる区域では、10月以降に公共ますと排水設備とを接続することが出来ます。これらの工事は、施工に必要な知識や設備を備えた「巻町排水設備等指定工事店」が行います。

巻町排水設備等指定工事店

●問合せ 上下水道課 下水道係 ☎72-2164

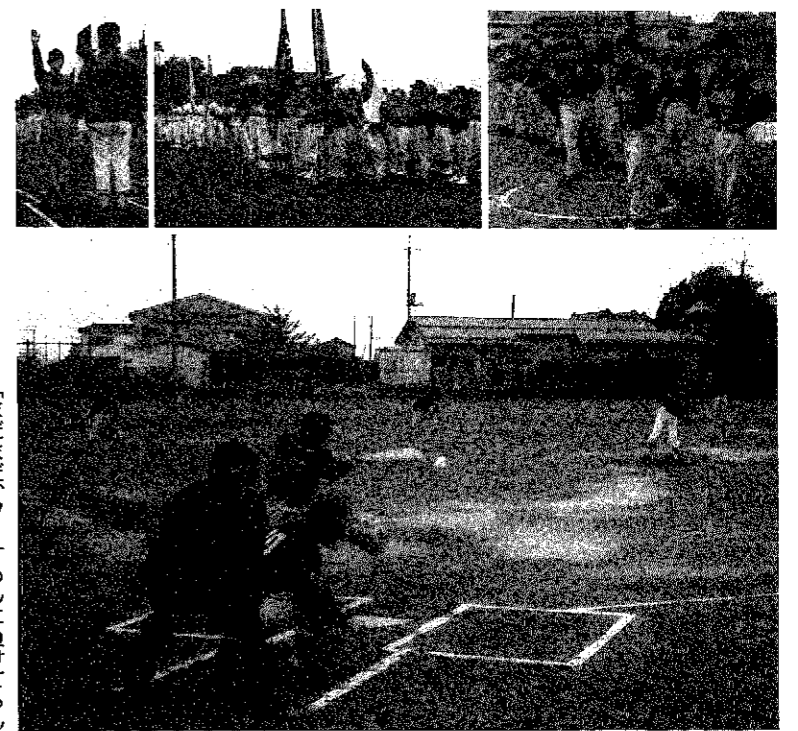
	工事店名	所在地	電話番号
町内業者	(有)岩崎配管工事店	巻町葉萱場64	72-4479
	栄進工業	巻町巻甲4081(東6区)	72-7997
	エヌエス工業(株)	巻町巻甲1424-3(13区)	72-8111
	(有)カゴシマ	巻町仁箇752	72-3641
	加勢工業	巻町漆山1830-1(8の丁)	76-2641
	(有)広和建设	巻町安尻1938-18	72-7931
	(有)小瀬設備工業	巻町巻乙283-1(3区)	72-2614
	(株)小林工務店	巻町下和納249	72-6233
	佐藤建設(株)	巻町巻甲4121-1(東6区)	72-2085
	(有)竹内設備工業	巻町巻甲3053(12区)	72-4526
	田島建設(株)	巻町中郷屋40	72-3951
	(有)タナカ設備	巻町巻甲3148-1(12区)	73-2211
	(株)寺澤設備	巻町鷺ノ木1924-2	72-3817
	(有)永井管工	巻町赤館290-38(グリーンハイツ)	73-2724
	(有)永井コンクリート工業	巻町巻甲475-2(1区)	72-2522
	長沼冷暖房(株)	巻町巻甲4137-3(東6区)	72-5002
	(株)梨本組	巻町漆山2937-2(8の丁)	76-2531
	(株)新潟コンステック	巻町漆山8374(8の丁)	76-2811
	(有)橋本組	巻町漆山7968(7の丁)	76-2438
	(株)平岡組	巻町福井564	72-8355
フジタ管工	巻町巻甲26-9(桔梗ヶ丘)	72-8203	
(有)巻設備工業	巻町巻甲699-2(8区)	72-3895	
(株)水倉組	巻町巻甲5480(東6区)	72-2371	
水庄建設(株)	巻町巻甲2735-1(10区)	72-2160	
(株)吉田建設	巻町赤館1307-1	72-2391	
町外業者	(株)保倉設備工業	燕市三王淵1629-1	0256-64-5168
	大岩住設	岩室村原586	82-2719
	大島設備	湯東村遠藤280	86-2406
	(有)洞プロ設備	湯東村横戸291	86-2409
	吉橋冷暖(株)	湯東村横戸1345	70-5005

(指定工事店は5月14日現在申請分・指定工事店の申請は随時受付けています)



■悪質な訪問販売等にご注意ください

最近、行政の委託業者と偽り、水道管や排水管の点検・清掃、浄水器の販売などを行っている会社があるようです。このような業者は、巻町とは一切関係ありません。上下水道課では、水道管などの点検・清掃、電話アンケート、浄水器の販売や取り付けの斡旋などは行っておりません。不審に思われたら、上下水道課にご連絡ください。



若いもんや、負けらんねえ
還暦野球大会

今年で20回目を迎えた「全日本還暦軟式野球大会」。その県予選が5月29・30日の両日、城山球場をメイン会場に開催され、県内から13チームが参加しました。

巻町からは、結成3年目の「巻クラブ」が出場。部員27人

「まだまだ、ワーケもんや負けてらんねてばねえ」。巻クラブ面々の鍛えられた体を見よ。動きも軽快そのもの。すばらしい。たまげた。(初回攻撃中)

ナイスショット!
グラウンドゴルフ大会

5月30日、城山運動公園芝生広場において「第1回グラウンドゴルフ町長杯交歓大会」(巻町グラウンドゴルフ協会主催)が開催され、町内の愛好者およそ60人が競技を楽しみました。

参加された皆さんは、和気あいあいとした雰囲気の中、日ごろの練習の成果を発揮。ホールインワン目指して、ナイスショットの連発です。



【大会の結果】
1位 有坂十九一(巻クラブ)
2位 寺沢 勝美(巻クラブ)
3位 丸山 辰男(巻クラブ)

所は大阪、天下茶屋
のぞきからくり特別公演

5月16日と30日の両日に、郷土資料館で「のぞきからくり特別公演」が行われました。軽妙な口上に耳を傾けながら仕掛け屋台の小窓からのぞく「のぞきからくり」。全国に3台が現存しますが、公演可能なものは巻町のものだけで大変貴重な1台です。

今回公演された「幽霊の継子いじめ」は7場面で構成され、語り太夫が物語の進行に合わせてひもを操作し、7枚の色彩やかな押し絵が紙芝居のように次々と変わります。それが、のぞき穴についていたレンズの効果で立体的に浮かび上がるという仕組み。物語は語り太夫の独特の口上と共に進められ、観客を魅了します。



語り太夫は、土田年代さん・青柳治さんが務めた。

放水、開始!
巻町消防団新入団員研修

5月30日、消防本部訓練場において、消防団の新入団員研修が行われました。

巻町の消防団は、各地域に7ヶ分団が組織され災害時に備えています。今年の新入団員は30人。各地域から精鋭が集まり、ホース延長や放水、部隊訓練を実施しました。

放水訓練では先輩から手ほどきを受け、目標を掲げて放水開始。水の勢いに驚きながらも、団員となった実感を味わいました。



平成16年度の年金は6月支払期から0.3%引き下げられます

平成16年度の年金額は、平成12年度から平成14年度の特例法として据え置かれたマインナス1.7%と平成15年の消費者物価の下落分マインナス0.3%と合わせた2.0%の改定となることですが、現在の社会情勢を考慮し、平成15年度分の「0.3%」のみが引き下げられることになりました。

定期支払の場合、4・5月分の定期支払期にあたる6月に支払われる年金から適用になります。

【平成16年度の年金額】

年金の種類	年金額(円)	月額(円)
老齢基礎年金	794,500	66,208
障害基礎年金(1級)	993,100	82,758
(2級)	794,500	66,208
遺族年金(子1人)	1,023,100	85,258
(基本額)	(794,500)	
(加算額)	(228,600)	
10年年金	482,700	40,225
5年年金	410,800	34,233
老齢福祉年金	407,100	33,925

免除の手続きはお早めに!

国民年金の保険料は月額13,300円(平成16年度)ですが、所得が少ないなどの理由により保険料負担が困難な人のために、申請することにより保険料が免除される「申請免除制度」があります。

申請免除制度には「全額免除」と「半額免除」の2通りあり、原則前年の所得に基づいて審査を行なうこととなります。

また、免除を受けた期間は、年金を受けとるための資格期間としては算入されませんが、老齢基礎年金の年金額は、保険料を納入した場合と比べて、全額免除期間については、3分の1、半額免除期間については、3分の2の算入となります。

ただし、半額免除された期間については、半額の保険料を納めない場合は未納期間として取り扱われますのでご注意ください。

平成15年度(平成15年4月から平成16年6月の間)に国民年金保険料の免除申請の承認を受けた方で、引き続き平成16年7月以降も免除を希望される場合は改めて手続きが必要ですが、平成16年7月から免除を受けるためには、7月

から8月末までの間に手続きをしてください。

なお、国民年金には、10年前までの免除期間について保険料を遡って納付することができる「追納制度」があります(承認を受けた年度末から2年を経過すると当時の保険料額に加算がきます)。

追納についてのご相談は、三条社会保険事務所へおたずねください。

年金を受けている方が亡くなった時は、速やかに届出しましょう

年金を受けている方が亡くなった場合は、年金に関する「死亡の届出」が必要です。この届出をしないと、死亡した以降の年金が引き続き支払われてしまいます。こうした場合、後日、過払いになった年金を遺族の方などからお返し頂くこととなります。

年金を受けている方が亡くなった時は、速やかに届出しましょう。

皆さんの提案やご意見をお寄せください。

町民の皆さんの声を今後の町政・町づくりに反映させるため、皆さんの提案やご意見を直接お聞きする「意見箱」を役場ロビーに設置しています。

また、意見箱とともに皆さんからの生の声をお聞きできるよう、町長専用の電子メールアドレスも設定してあります。町づくりに関する提案やご意見をお寄せください。

●町長専用のメールアドレス cyoucyou@town.maki.niigata.jp



やまはいのちの源だった

毎日、梅雨空を思わせる曇天が続く。今日は天気もなんとか良くなり、稲島を歩いた。なかなか人が歩いていない。かなり歩いた。

さらに道を歩いていると、「おーい」と声を掛けられた。渡辺さんだ。「お茶でも飲んでいけ」。これですよ、この一言。なんだかあつたかいつて思う。道を歩いていると、呼び止められ、「お茶でも飲んでいけ」。そして本当にお茶を飲むんだよね。世間話でもしながら……。

「今日は昭和を探しての取材です」って言ったら、昔の山の話聞かせてくれた。明治時代以前、江戸までは、山はお上の持ち物だった。住民は「入会権（いりあけん）」を買って、山を利用する権利を得た。その管理は「ヒノキ一本首ひとつ」、つまり、ヒノキを盗んだら、死罪に値するほど厳しかった。それだけ山を大切にしていたということでも

ある。それが明治以降、山も民間へ払い下げとなった。明治政府がそれで単純にお金を集めようとしただけでなく、その後の税収も見込んでのことだという。

第2次大戦後、焼け野原だったわが国が急速に立ち直る過程で木材が大量に必要となった。価格が上がった。みんな、商品価値の高い杉を植え続けた。

そして材料として使える以外の小枝などを乾燥させて焚き付け用として、街中まで売りに行っていた。めいっばい担げるだけ担いで、お金に換えて、それが黒砂糖1斤（600g）くらいにしかならなかったという。

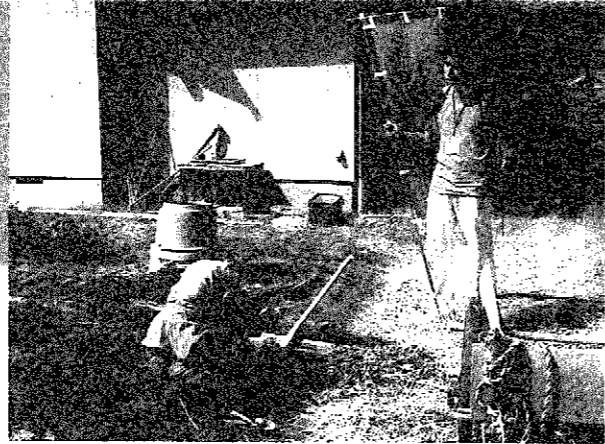
すこいな、ザ・日本の歴史。歴史の教科書で「杉の値段が上がったので大量に植林しました」って学校で教わるだけじゃ分からないです。実際に体験した人の話は何倍も面白い。



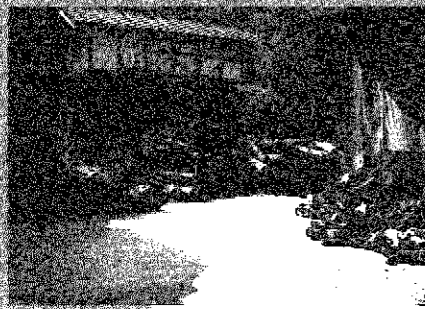
お茶に誘ってくれた渡辺基一さん。昔話に花が咲く。



稲島は奥山田の山すそに広がる集落で戸数百軒あまり。農業・林業が主な生業。江戸時代は北国街道の宿駅で「稲島宿」と呼ばれ、本陣は庄屋桑原家。茶屋や茶屋などがあり宿場町として賑わいを見せていた。稲島の南に位置する伏部は、竹林に囲まれた戸数二十軒ほどの小集落。立派な竹林の中には鎮守の八幡さまがある。ろうそく屋・家紋屋・紺屋・浴屋などの屋号の家があり、ありし日の繁栄を物語る。
【資料】老翁双書 越の山の辺の道 藤田治雄著



畑仕事をするおばあちゃん。トマトを植えていた。なんでも、最初はちょっとだけ植えて、育ってきたら、わき芽を取って、また挿し木してトマトを増やすんだそうだ。そうすると安上がりだし、時期もずれるからずっとトマトが採れる。街中を少し外れると、みな、当たり前のように畑で野菜を育てている。何十年も変わらぬ時間の流れがそこにある。畑がある。野菜を育てる。それはもはや生活の一部なのだ。畑のない生活など、考えられない。おばあちゃんの話聞きながら、少しだけそんな気持ちになった。



田んぼだけの平場の農家でも、田んぼに出かけるときは「やまに行ってくる」という。「やま」は人間の「いのち」の源だった。山持ち農家といえど、安定した農家の代名詞とされた。稲島、奥山田の山林は、佐渡とともに竹の産地として知られていた。刈り取った稲をほす、薄皮では特有の「はざ」があり、稲作の生産資材として竹や間伐材は重要視され、それらの産地として名をなしたのだった。今でも立派な竹林が多い。



最後に通りがかった家のおじいちゃんから面白い話を聞いた。山仕事はまだ盛んだったころ、北蒲原郡ではほとんどの家の風呂がいわゆる五右衛門風呂だった。そこに仕事を手伝いに行った人のエピソード。

五右衛門風呂など見たことないから、入り方が分からない。五右衛門風呂はスノコが浮いている。それを踏みつけて、お湯につかるのだ。そうしないと下の鉄板が熱すぎて入れない。でも見たことない人はそれをふただと思っ取って入ってしまう。すると、ものすごく熱い。ゲタを履いて入ったとか、そんな話もありました。

変わらないもの 残したい技 伝えたいコト

●リポーター 西田卓司 (NPO法人 虹のおと)

*あなたの身近に「昭和」にまつわる話がありましたら、広報広聴係へご一報ください。取材におじゃまします。

お知らせ

TOWN INFO MAKI

- 巻町役場 ☎72-3131
- 町立巻病院 ☎72-3111
- 巻消防署 ☎72-3309
- 上下水道課(浄水場) ☎72-2164
- 巻町文化会館 ☎73-2219
- 巻町公民館 ☎72-3329
- 巻町教育委員会 ☎73-2000

今月の納税

町・県民税…第1期
国民健康保険税…第2期

納期限…6月30日(水)
※期限内の納入をお願いします。

納税は便利な口座振替で!

※口座振替の用紙は巻町税務課、金融機関に用意してあります。手続きには通帳と印鑑(通帳に使用のもの)が必要です。
※保険税の口座振替で世帯主変更があった場合は、口座振替依頼書で変更手続きをお願いします。

募集

町職員を募集しています

町では、平成17年4月1日採用の職員を募集中です。試験案内は総務課人事係にあります。
募集内容(職種・受験資格等)
● 一般行政職
採用予定人数 4人
試験区分 上級試験(行政)
受験資格 大学を卒業した者または平成17年3月までに卒業見込みの者で、昭和52年4月2日から昭和58年4月1日までに生まれた通勤可能な者
申込締切 6月23日(水)
試験日及び試験内容
1次試験 7月25日(日)
(北越高校 新潟市米山5丁目) 教養試験、専門試験、一般性格診断検査
2次試験 9月上旬ごろ
(巻町役場) 面接、作文
問合せ 総務課 人事係 ☎72-3131(内線211)

ボランティア養成講座

「身近な材料で作る楽しい工作」を学び、ボランティア活動に役立ててみませんか。
とき 7月3日(土)
午後1時30分～3時30分
ところ 巻町公民館3階視聴覚室
講師 西浦・燕科学教育センター専任所員 関 卓二さん
対象 中学生以上 20人
参加費 無料
申込締切 6月24日(木)
申込み・問合せ ☎72-3309

催し

年2月の第4日曜日
活動場所 福井・諏訪山(国道460号沿いじよんのび館隣)
活動内容 下草刈・枝打ち、その他ボランティアによる具体的な作業
対象 年齢 性別は問いません。未経験者も大歓迎です。
問合せ 農政課 農村整備係 ☎72-3131(内線135)

子どもの未来を考える「親の集い」

子どもたちの「より善く生きる力」を引き出す親の役割、真の家庭教育のあり方について、見つめてみませんか。
とき 6月13日(日)
午前10時～11時30分
ところ 新潟ユニオンプラザ
入場料 無料(入場整理券が必要) ※問合せください。
内容 体験発表(家庭教育の大切さ、学校教育とのかわり、親子)

子育て支援センター

子育てを通してお友だちづくりをしませんか。お母さんだけの参加も大歓迎です。
とき 6月15日(火)
午後1時30分～3時
ところ 巻町公民館2階研修室
申込み・問合せ 子育て支援センター(212号の倉) ☎72-6240

24時間受付・相談無料
電話健康相談室
(0120)834-011
医師・看護師等がお答えします。

市町村コード番号
巻町 15345

休日救急当番医

6月15日～30日

- 外科 20日 県立吉田病院(吉田町: ☎92-5111)
- 27日 町立巻病院(巻町: ☎72-3111)
- 内科・小児科・歯科 西蒲原地区休日夜間急患センター(東6区: ☎72-5499)

「子育て支援センター」の提出をお忘れなく!

児童手当等現在受給されている方は、引き続き受給要件があるかどうかを確認するため、毎年6月に「現況届」を提出して頂く必要があります。
この届の提出がないと、6月以降の手当が受けられなくなり、その際、注意喚起させていただきます。
必要書類等
児童手当現況届(6月中旬に郵送します)、年金加入証明書または、受給者本人の保険証(国民年金加入の方は不要です)、児童手当所得証明書(平成16年1月1日現在、巻町以外に居住していた場合)、印鑑
※必要に応じて、このほか書類をお願ひする場合があります。
※公務員の方は勤務先で手続きをさせていただきます。
※6月10日は児童手当の振込日です。遅延をご確認ください。
申請・問合せ 町民福祉課 社会福祉係 ☎72-3131(内線165)

子育て支援センター

みなで公園に集まって遊びましょう。
とき 6月30日(水)
午前10時30分～11時30分
ところ 矢川ふれあい公園
内容 砂遊び、お散歩、紙芝居持ち物 飲み物
※お子さんを2人以上お連れの方は申込み時にお話しください。スタッフがお手伝します。
申込み・問合せ 子育て支援センター(212号の倉) ☎72-6240

子育て支援センター

お抹茶を頂きながら、お筆の演奏を楽しみませんか。筆會による、お筆と尺八の演奏会です。演奏だけでなく、お筆の体験もできます。
とき 6月27日(日)
午前10時～11時30分
ところ どんぐりの倉
参加費 100円
申込み・問合せ 子育て支援センター(212号の倉) ☎72-6240

子育て支援センター

「親の集い」
子どもたちの「より善く生きる力」を引き出す親の役割、真の家庭教育のあり方について、見つめてみませんか。
とき 6月13日(日)
午前10時～11時30分
ところ 新潟ユニオンプラザ
入場料 無料(入場整理券が必要) ※問合せください。
内容 体験発表(家庭教育の大切さ、学校教育とのかわり、親子)

子育て支援センター

子育てを通してお友だちづくりをしませんか。お母さんだけの参加も大歓迎です。
とき 6月15日(火)
午後1時30分～3時
ところ 巻町公民館2階研修室
申込み・問合せ 子育て支援センター(212号の倉) ☎72-6240

子育て支援センター

子育てを通してお友だちづくりをしませんか。お母さんだけの参加も大歓迎です。
とき 6月15日(火)
午後1時30分～3時
ところ 巻町公民館2階研修室
申込み・問合せ 子育て支援センター(212号の倉) ☎72-6240

お知らせ

6月11日(金)・12日(土)・13日(日)
まき夏まつり開催



テーマ 巻後のへらへら(仮)「心のセカンダリ」
講師 新潟県金融広報委員会 金融広報アドバイザー
主催 巻町、新潟県消費者協会 巻支部
問合せ 生活環境課 生活環境係 ☎72-3131(内線142)

「子育て支援センター」
「普通救命講習会」
突然の事故や病気が起こると救命車を呼ぶような現場で活躍した救命手当を身につけておくことが、大いなる命を守ることに繋がります。人工呼吸や心臓マッサージ、止血法などの救命手当を学びましょう。
とき 6月27日(日)
午前9時～正午
ところ 巻消防署3階講堂
対象 一般市民
受講料 無料
申込方法 電話かFAXで住所氏名、生年月日を連絡してください(当日受付可)。
申込み・問合せ ☎72-3309 図73-4745

子育て支援センター
お筆を楽しむ会
お抹茶を頂きながら、お筆の演奏を楽しみませんか。筆會による、お筆と尺八の演奏会です。演奏だけでなく、お筆の体験もできます。
とき 6月27日(日)
午前10時～11時30分
ところ どんぐりの倉
参加費 100円
申込み・問合せ 子育て支援センター(212号の倉) ☎72-6240

平成17年度 使用
小学校教科用図書展示会
期間 6月29日(火)～7月6日(火) ※土曜・日曜を除く
午前9時～午後4時
ところ 巻南小学校 やまなみルーム(3階)
その他 出入口は職員玄関を利用し、教務室の職員に一声かけてから教科書を閲覧してください。
閲覧会場では、各前の記録をお願ひします。なお、閲覧後のご意見・感想を記入をお願いします。
問合せ 学校教育課

子育て支援センター
あおぞら広場
みなで公園に集まって遊びましょう。
とき 6月30日(水)
午前10時30分～11時30分
ところ 矢川ふれあい公園
内容 砂遊び、お散歩、紙芝居持ち物 飲み物
※お子さんを2人以上お連れの方は申込み時にお話しください。スタッフがお手伝します。
申込み・問合せ 子育て支援センター(212号の倉) ☎72-6240

子育て支援センター
外国人ママサロン
子育てを通してお友だちづくりをしませんか。お母さんだけの参加も大歓迎です。
とき 6月15日(火)
午後1時30分～3時
ところ 巻町公民館2階研修室
申込み・問合せ 子育て支援センター(212号の倉) ☎72-6240

「児童手当現況届」の提出をお忘れなく!
児童手当等現在受給されている方は、引き続き受給要件があるかどうかを確認するため、毎年6月に「現況届」を提出して頂く必要があります。
この届の提出がないと、6月以降の手当が受けられなくなり、その際、注意喚起させていただきます。
必要書類等
児童手当現況届(6月中旬に郵送します)、年金加入証明書または、受給者本人の保険証(国民年金加入の方は不要です)、児童手当所得証明書(平成16年1月1日現在、巻町以外に居住していた場合)、印鑑
※必要に応じて、このほか書類をお願ひする場合があります。
※公務員の方は勤務先で手続きをさせていただきます。
※6月10日は児童手当の振込日です。遅延をご確認ください。
申請・問合せ 町民福祉課 社会福祉係 ☎72-3131(内線165)

お知らせ

介護保険施設に入所されている方は、所得に応じて食事が軽減される「標準負担額減額認定」を受けられます。忘れずに手続きをしましょう。
介護保険施設に入所されている方は、所得に応じて食事が軽減される「標準負担額減額認定」を受けられます。忘れずに手続きをしましょう。
対象者及び標準負担額(1日の食事代)
☎72-3131(内線262)

道路脇の立木の管理は大丈夫ですか
強風により立木が道路に倒伏したり、道路上に張り出した枝が交通標識を覆い隠したり、通行車両に接触したりする事例が見受けられます。これらが原因で事故が発生すると、立木の所有者の管理責任が問われることとなります。危険な立木や道路上に張り出した枝は早めに伐採してください。
問合せ 国道及び県道については巻土木事務所庶務課 行政係 ☎72-0976
町道については建設課 維持管理係 ☎72-3131(内線262)

平成16年度「建築物等
実態調査」にご協力を

この調査は、最近における「建築物及び住宅の建築状況等」を調査し、国や都道府県の住宅・建築行政等の基礎資料を得ることを目的として、国土交通省が都道府県及び市区町村の協力のもとに毎年実施しているものです。

調査の内容については、統計に関すること以外には使用しません。

調査期間

6月10日(木)～30日(水)

※この期間に調査員が伺います。

調査区

・巻町大字割前104番地～305番地

・巻町大字四ツ郷屋841番地～1812番地

問合せ 建設課 技術係

☎723131(内線265)

献血(全血) 6月23日(水)



巻支部建設会館
【午前】10時～正午
【午後】1時～3時30分

ご協力をお願いします。

● 問合せ 巻町文化会館 ☎73-2219

好評発売中!

笑ライブ2004



公演日

6月20日(日)

開場 17:30
開演 18:00

料金

S 席 5,000円
A 席 4,500円
自由席 3,000円
(当日各500円増)

堀内孝雄コンサート



公演日

7月22日(木)

開場 18:00 開演 18:30

料金

全席指定 6,000円(当日300円増)

みんな 集まれ!
週末は公民館が面白い。

申込み・問合せ
社会教育課
☎72-3329

学校週5日制による土曜・日曜日の子どものための居場所づくりとして、「子ども教室」を開催します。小・中学生の皆さん、ふるってご参加ください。

生け花教室

とき 7月24日(土)・8月28日(土)・9月11日(土)
10月9日(土) 計4回
午前9時～11時30分
ところ 巻町公民館 2階研修室
講師 南須原 露さん
募集人数 20人(先着順)
参加費(材料費) 花・花器代 500円×4回=2,000円



手芸教室

とき 7月10日(土)・8月28日(土)・9月11日(土)
計3回 午前9時～11時30分
ところ 巻町公民館 3階視聴覚室
講師 宮路 智子さん
募集人数 20人(先着順)
参加費(材料費) 300円×3回=900円
(アメリカンフラワー・押し花アート・ビーズ細工)



● 申込期間 各教室とも6月15日(火)～22日(火) ※先着順ですので、お早めに申込みください。
※両教室とも初回に参加費(材料費)をまとめて徴収します。つり銭のいらないようにお願いします。また、開級式を15分程開きますので、できるだけ保護者同伴でお越しください。なお、平成17年1月からは、手話教室(3回)を開催する予定です。



町民生活カレンダー

16日～30日 (□=時間 □=会場)

16水	●介護保険相談 □午前10時～午後5時 □ふれあい福祉センター ◆3歳児健診 □午後1時20分集合 □保健センター ■じよんのび館休館日
17木	●心配ごと相談 □午前10時～午後1時 □役場1階相談室 ◆ポリオワクチン予防投与 □午後1時30分～2時15分 □保健センター ★町立巻病院外来診療休診日
18金	
19土	★役場閉庁
20日	○郷土資料館休館日 ▶休日救急当番医(20ページ参照)
21月	○郷土資料館休館日 ○得雲荘休館日 ◆ママのなんでも相談(実習) □午後1時～2時15分 (来所相談) □午後2時30分～3時30分
22火	
23水	☑献血(全血)(22ページ参照) 住民課窓口 ●介護保険相談 □午前10時～午後5時 時間延長 □ふれあい福祉センター (午後7時まで)
24木	●心配ごと相談 □午前10時～午後1時 □役場3階大会議室 ★町立巻病院外来診療休診日
25金	◆もうすぐお誕生ひろば □午前9時30分集合 □保健センター ◆3・4か月児健診 □午後1時20分集合 □保健センター
26土	★役場閉庁
27日	○郷土資料館休館日 ▶休日救急当番医(20ページ参照)
28月	○郷土資料館休館日 ○得雲荘休館日 ◆離乳食相談 □午後1時20分集合 □保健センター
29火	
30水	●介護保険相談 □午前10時～午後5時 □ふれあい福祉センター ◆心の健康相談 □午後1時30分～3時 □保健センター



赤ちゃんの健康のために

会場/保健センター
☎72-7100

3歳児健診

対象 平成13年2月生まれの幼児
とき 6月16日(水) 午後1時20分集合
内容 内科健診、歯科健診、身体計測、視聴覚検査、尿検査、保健師の問診、栄養指導
持ち物 母子手帳、目・耳のアンケート、尿検査の尿

ポリオワクチン予防投与

6週間以上の間隔をあけて、2回投与します。
対象 3か月～18か月の乳幼児
とき 6月17日(木) 午後1時30分～2時15分
持ち物 母子手帳、予防票
※前後30分は飲食させないでください。
※下痢がある場合は受けられません。

もうすぐお誕生ひろば

対象 平成15年7月生まれの乳児
とき 6月25日(金) 午前9時30分集合
内容 身体計測(希望者)、保健師の相談、親子遊び、離乳食の指導
持ち物 母子手帳

3・4か月児健診

対象 平成16年2月生まれの乳児
とき 6月25日(金) 午後1時20分集合
内容 内科健診、股関節の脱きょう健診、身体計測、保健師の問診、離乳食の指導
持ち物 母子手帳、バスタオル

離乳食相談会

お子さんの離乳食について心配されているお母さん。栄養士、保健師が相談に応じます。
対象 平成15年12月生まれの乳児
とき 6月28日(月) 午後1時20分集合
内容 離乳食のすすめ方、身体計測
持ち物 母子手帳

子育て支援センター

こころ広場カレンダー(6月16日～30日)
どんぐりの舎 ☎72-6240

- 6月16日(水) 親子遊びの会(音楽遊び)
□午前10時30分～11時30分
- 18日(金) マミーズカフェ □午前10時～
健康講座「虫歯にならないために」
□午前11時～
- 19日(土) こころミュージック
□午前10時～11時30分
- 22日(火) フリーマーケット
□午前10時～正午
- 23日(水) 親子お誕生日会
□午前10時30分～11時30分
- 26日(土) こころミュージック
□午前10時～11時30分
- 27日(日) お夢を楽しむ会
□午前10時～11時30分
- 30日(水) あおぞら広場(矢川ふれあい公園)
□午前10時30分～11時30分

まちの にゅーぶえいす

武田 花音ちゃん [3区・1歳1か月]



●パパ：裕也さん ●ママ：綾子さん

- 名前の由来：響きから
 - 名付け親：パパ
 - 最近のお気に入り：ご飯、バナナ、お菓子。キティちゃん。
 - 両親からのメッセージ：明るくて優しい女の子になってね。
- 最初、緊張してなかなか笑顔を見せてくれず、パパに肩車やくすぐられてやっと笑顔を見せてくれました。今年の秋には、お姉ちゃんになる『かのん』ちゃん。面倒見のよい優しいお姉ちゃんになってね。

*「まちのにゅーぶえいす」の募集を再開します。ご希望の方は、広報広聴係へご連絡ください。

お誕生

おめでとう

(5月16日～31日届出分)

名	前	誕生日	氏名	行政区
高橋	勇里	3.3	宏明・芳子	12区
本間	花嘉	5.6	秀幸・晴代	堀山団地
沢栗	白師	5.8	隆基・みゆき	下和納
大竹	ひなた	5.8	智也・美由紀	仁箇
小田	心優	5.8	豊・玲奈	河井
玉木	心愛	5.9	康則・英恵	堀山団地
堀田	百香	5.11	雅彦・淳子	桔梗ヶ丘
間宮	達貴	5.13	登一・祐子	並岡
大泉	航紀	5.17	敏和・孝子	赤館
岡村	友大	5.17	貴広・律子	1区頭
林山	唯愛	5.18	幸輔・香織	漆山3の丁
神田	春樹	5.18	明継・由紀	12区
長谷川	絢輝	5.20	一洋・幸江	角田浜
吉田	唯愛	5.21	雅也・さゆり	12区

*高橋勇里ちゃんはロシアで生まれたため、4月30日にロシア総領館を通じて届出がありました。

ごめい福を

お祝いします

(5月16日～31日届出分)

名	前	ごめい日	年齢	行政区
羽生	キヨ	5.15	84	12区
星野	米子	5.17	87	10区
橋崎	福一	5.17	86	天神町
石田	清三郎	5.18	92	7区
大橋	アキ	5.18	95	グリーンハイツ
佐藤	セイ	5.19	91	1区
金子	福一	5.19	85	福井
山本	誠一郎	5.21	93	松野尾下組
坂爪	チユ	5.24	96	馬堀西下組
山本	誠一	5.27	71	松野尾町組

*「個人情報保護条例」を施行したことに伴い、「お誕生おめでとう」、「ごめい福をお祝いします」欄は、掲載の同意があった方を記載しています。

矢垂川に「稚アユ」放流

子どもの遊び、里の川づくりを進める「矢垂くらぶ」



この時期になると、ホタルの乱舞が見られる福井・矢垂川。周辺の環境に溶け込むように整備されたこの川は、地域の人たちによって大切にはぐくまれています。

その一つに、ホタルを始めとした昆虫や魚類、水辺植物などの保護・観察を行っている「矢垂くらぶ」(平岡敬会長・会員14人)があります。同くらぶでは活動の一環として5月29日、矢垂川に体長10センチほどの稚アユ千匹を放流。「毎年この時期に

行っている」そうで、今年で6回目となりました。

アユは、川の中流域でふ化して海に下り、翌春には6～8センチほどに成長して川を遡上。中流域で藻やコケなどを食べて20センチほどに成長します。秋になると、成魚となったアユは中流域下部まで降下し、産卵して一生を終えます。

矢垂川と矢川の合流地点に「魚道」が完成してからは、矢垂川にもアユが上ってきますが、途中に何か所の堰があったり、川の水量やえさとなる藻やコケなどが少なかったりして、生息できる区域が限られています。くらぶでは、それらを少しずつ解消して、アユなどの魚類をはじめ、そこに暮らす生き物が住みやすい環境作りを行ってきたいということです。

また、くらぶではホタルの幼虫を食べてしまうアメリカザリガニの駆除も実施。4月中旬から9月中旬まで、川の25か所に捕獲用のカゴを設置するなどして、ホタルの保護にも力を入れています。



この日の「矢垂くらぶ」の面々。左から小林さん、平岡さん、新井さん、山口さん。

ご厚意に感謝します

次の方々から町に寄贈を頂きました。ありがとうございます。●小林一雄さん(12区)から、公民館図書室にご自身が出版された句集「曇気楼」2冊●東北電力(株)巻営業所から、巻西中学校に「ポプラ苗木」5本●松野尾保育園父母の会(齊藤庄吾会長)から、松野尾保育園に「デジタルカメラ」1式

しゃったーちゃんすー表紙のはなしー

郷土を慈しむ心

野口さんとの出会いがきっかけで、今回「巻町の鯛車」を特集することができました。取材を通じて、いろいろな方からお話をうかがうと、鯛車にかけける情熱がひしひしと伝わってきました。そこには、巻町を慈しむ心が重なり合っていて見えてきます。「温故知新」という諺があるとおり、新しいものがすべてではなく、古くから伝わるものにも意味があり、それを理解することによって郷土に対する誇りが生まれるのだと思います。

「鯛車をいっぱい集めて、何かやってみたいよね」と、野口さんと話しています。まだまだ古い鯛車が眠っているかもしれません。「オレも作ってるぞ!」という方もいらっしゃるかもしれません。そういった情報がありましたら、広報広聴係へご一報をお願いします。「鯛車」は、町の宝なのですから…。